



「医療専攻」便り

新潟県立三条東高等学校 vol. 6 (令和6年4月8日)

令和5年度医療専攻発表会 3月27日(水)13:30~15:30 於:三条東高校第一体育館

プログラム

1 校長挨拶

2 来賓紹介

3 グループ別発表

① 1班「最後まで自分らしく生きるための終末期ケアとは」
佐藤結香 川村友菜 吉村悠那 和田なごみ

② 2班「医療従事者の人材不足を解消するために」
齋藤花恋 高地琴埜 佐藤瑚花 堀琴音

③ 3班「チーム医療の担い手になるために
私たちにできることは」
宮澤昂誠 坂井海翔 鴨井晶飛 小池莉央 鶴巻美月

④ 4班「高齢者がもっと地域包括ケアシステムを利用するためには」
浅野稟乃 宮嶋かなで 田邊良良 湯谷美奈

司会： 前半・・・宮嶋かなで・湯谷美奈
後半・・・霜鳥花・中島唯



⑤ 5班「難病支援の現状 ～私たちにできることは～」
岩坂瑠那 土田莉花 南波彩衣 青柳心美

⑥ 6班「小児看護と家族支援に求められること」
大久保璃胡 中島唯 坂井陽織 諸橋和佳

⑦ 7班「地域の医療格差を改善するためには」
篠原知香 河田陽奈 霜鳥花

4 質疑・応答

5 講評

6 生徒代表挨拶 (2年6組 宮澤昂誠)



《講評でお話いただいたこと(抜粋)》

- ・課題設定の理由から課題解決の提案まで、筋道に沿って探究している発表だった。
- ・高校生の自分たちに何ができるかを考え、自分たちの言葉できちんと意見を述べていて、非常に立派な発表であった。
- ・調べ学習にとどまらず、たくさんの方から意見を聞き、アンケートを取り、その結果を分析し、考察した提案であり、聴いていて説得力があった。
- ・発表の内容が多岐にわたっていて、同じ講演会や見学をおこなっていても7つのグループそれぞれが興味をもったことが異なり、興味を持った内容を研究していて聴きごたえがあった。

今年度の医療専攻の学びを進めるにあたり、見学にお邪魔した三条総合病院を始め、多くの皆さまに大変お世話になりました。講演会では、様々な角度から生徒にとって今後の指針となるお話をしていただき、医療従事者を目指す生徒が人とのように関わり、人としてどう成長すべきか、深く考える機会を与えていただきました。心より感謝を申し上げます。

生徒は興味をもった探究課題に対し、医療従事者の方々の生の声をお聞きし、本を読み、調べ、考え、自分たちの結論を導き出すという活動を行ってきました。高校生が答えを見つけることは困難な課題ではありましたが、その課題に真摯に向き合うことは、今後医療従事者を目指す生徒にとって大きな意味があったと考えております。

医療専攻で学んだ2年生の皆さん、1年間お疲れ様でした。皆さんがさらに成長し、将来、地域の医療を支える人材として活躍してくれることを願っています。